



- 1、和歌の浦曲(うらわ)の 片男波(かたおなみ)の よせかけよせかけ 帰るごとく
われ世に繁く 通いきたり みほとけの慈悲 つたえなまし
- 2、一人いても 喜びなば 二人と思え 二人にして
喜ぶおりは 三人(みたり)なるぞ その一人こそ 親鸞なれ 「報恩講の歌」



10月1日より2日と当山秋季永代経法要をおつとめさせていただきました。読経の中、法名軸の前で参拝者お一人お一人が焼香をされました。受け継がれたいのちのであいの不思議さや、今ここに生きることの尊さ、仏法に遇わ^{ゆずり}せていただいたこと^{さいけん}

の有りがたさを感じさせていただきました。2日間岐阜よりお越しいただいた慶圓寺 譲西賢師のユーモアあふれるご法話をご聴聞させていただきました。「私たちの幸せとは、自分の思いと現実とが限りなく近づくことに幸せを思う。なかでも、人から良く見られたい(名聞)、人よりも勝ちたい(勝他)、いい暮らしをしたい(利養)の思いが叶うことである。しかし、お釈迦さまは『諸行無常』つかんでも離れる、この世に末通るものは何もない現実をさとされた。つまりは苦悩や悲しみ、寂しさを抱えて生きること。その私に「為諸庶類 作不請友 荷負群生 為之重担」(仏説無量寿経)「もろもろの庶類のために不請の友となる。群生を荷負してこれを重担とす」と阿弥陀さまが一人ひとりを抱きとめてくださっている。様々なご縁を通してこの阿弥陀さまの救いにであわさせてもらうのであり、何より先だった方々が私たちにそのであいを持つように願い、はたらきかけてくださっているのです」との尊い味わいをも、お聞かせていただいたご縁でした。



10月30日(日)楠平尾専念寺様にて親鸞聖人750回大遠忌法要が、多くの参拝者の中ご修行されました。「宗祖讃仰作法」のおつとめでは、賑やかに散華が撒かれ法要に彩りがもたれました。白山町の同じお名前の専念寺加藤幸子本願寺派布教使のお話しをご聴聞。段々と話にも熱が入ります。



お昼お斎を頂いて午後は、亀山在住のIBYバンドの演奏と歌。参拝の方も一緒に「真宗宗歌」「恩徳讃」「上を向いて歩こう」など合唱しました。



仏教壮年会では10月30日天然温泉ユウユー会館に出かけました。サウナやお湯につかって、懇親会。お寺に参っても繋がりがなかったがこうして、壮年会を通して話したり、お酒飲んだり歌をうたったり、温泉も入って出会いがあつてよかったなあ、皆さんまだまだお勤めの方も多く、日頃の時間やストレスに追われた生活の中からちょっと抜け出してのひと時を楽しく過ごさせて頂きました。





就活の学生さん頑
張ってください

CDを聞きながら (ああ上野駅)



昭和三十八年四月に、就職列車に乗った青函連絡船・汽車に乗り継ぎ、上野駅着神田神保町に在る旅館にて数泊滞在した入社時の社員研修で、全国各地から数名地方方言が楽しく可笑しく直ぐに融けた

■会社の行業内容を何も知らずに入社した勤務地が札幌と聞いて心の不安が消えただが入社時の仕事は、資材の出荷業務だ本当に信じて選んだ道なのかと日々悩み何時しか、転職を考え乍、毎日出勤した

■将来に不安を抱えながら一年が過ぎた頃会社の組織が大変化し、内勤業務に就く組織と取扱い資材等を猛烈に再勉強した全て一からの勉強のし直しに心が燃えた一にも二にも会社の為と思ひ仕事をした

■社会の中で無知で独善な考えも変わった誰に頼ることも、応援される事も無いが他人を思い応援する事の楽しさも知った今ふと過ぎし若き日々を振り返る事多し人生の出発点(ああ上野駅が慕わしい)

今年、台風が連続して本道に上陸して、各地が甚大な被害を受けました。その災害の様子をTVにて毎日観て居ると、心が暗くなる事が多過ぎて、また好きなドライブが出来る道路状況では有りません。その憂鬱な日々を過ごして居たその朝(九月二十一日)

が、久し振りに朝から快晴です。その快晴の空を見ていると無性にドライブに出掛けたくなりました。『よし行こう、ドライブに出掛けよう』との気持ち膨らみ、海の広さ、青色に心を癒やそうとの気持ち湧き上がり、いざ出発です。真狩村の細川たかし像に遭いに行こう、洞爺湖からの海路を楽しもう、を妻に告げて久しぶりのドライブです。何十回もドライブを経験していたが、今日の様な雲一つ無い風景を見るのは初めてだ、青空と緑の山々がハッキリとした風景、妻の大歓声に気持ち昂ぶり心が晴れる、「わあ〜」久し振りに、暗く塞がった心に癒しを頂きました。

北海道 大島義勝さん



洞爺湖畔



真狩川河川公園・細川たかし像

妻の歓声(近場ノドライブ)

今日は朝から快晴、又とない晴れた空によし行こう、の一声でドライブを計画す大海原を眺望すると暗い気持ちが晴れるそう、太平洋の海岸線からの海が一番

一年振りに羊蹄山の麓、真狩村を訪ねる

定山溪から中山峠に映える空と山の景色青空と濃緑のコントラストが素晴らしい何度も何度も妻の歓喜の声「わあ〜」

■真狩村は、男爵イモ畑と枝豆畑が連なる河川公園の細川たかし像前にて記念撮影次に目的地の一つ、洞爺湖畔を再訪するいよいよ海が見える海岸通りをドライブ

■伊達、室蘭の白鳥大橋を渡り眺望を堪能登別伊達時代村を経て国道36号を走破道を間違えること数回、でも素晴らしい海岸線の景色の美しさに「わあ〜」

西方に 光る芒野 浄土かな

梵字消ゆ 墓にたむけし 菊花かな

合わす手に 秋温在りし 亡夫の猊

農道の 一直線や 鰯雲

一碗に 同引菜の浮く 朝餉かな

コーヒーのただよう厨 秋深し

切れ切れに 鳴く虫の音や 夜の淋し

伝言板 文字のうする 秋の暮

落合登代子



札幌市

大島

光子

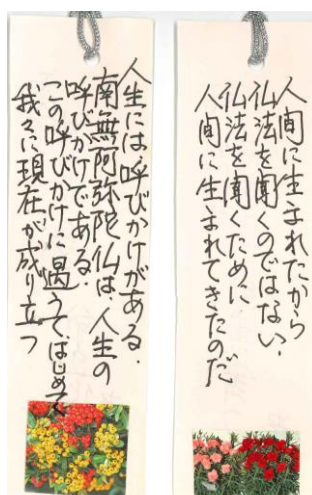
さん

朝倉市

森田

瑛子

さん



暦の上では、もう冬です。寒くなってきました。木々の色づきも深くなってきました。風邪など気をつけてくれぐれもお大事にて、お念仏ご相續ください。